

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

=> s jp08053694/pn  
L18 1 JP08053694/PN

=> d 118 all

L18 ANSWER 1 OF 1 CAPLUS COPYRIGHT 2001 ACS

Full  
Text

References

AN 1996:345475 CAPLUS  
DN 125:13852  
TI Skin-compatible liquid detergent compositions with improved foamability  
IN Iihara, Tei; Aikawa, Naomi; Nishida, Masao  
PA Lion Corp, Japan  
SO Jpn. Kokai Tokkyo Koho, 8  
CODEN: JKXXAF  
DT Patent  
LA Japanese  
IC ICM C11D001-12  
ICS C07C017-08; C11D001-02; C11D001-66; C11D003-26; C11D017-08  
CC 46-6 (Surface Active Agents and Detergents)  
FAN.CNT 1

	PATENT NO.	KIND	DATE	APPLICATION NO.	DATE
PI	<u>JP 08053694</u>	A2	19960227	<u>JP 1994-209164</u>	19940810
OS	MARPAT 125:13852				
AB	Title compns., useful for kitchen, residence, shampoo, etc., comprise (a) 0.5-10% alkali metal, alk. earth metal, (substituted) ammonium, and/or amine salts of C10-16 (av.) linear alkylbenzenesulfonates (A), 0.5-5% alkylamine oxides (B), 1-25% nonionic surfactants with HLB 9-15 (C), and 0-10% anionic surfactants except A or (b) 0.5-5% A, 0.5-10% amphoteric surfactants, 1-25% C, and 0.5-10% C10-18 alkyl or alkenyl sulfate poly(ethylene oxide) ethers at av. d.p. 2-7 mol. Thus, a compn. of Na C10-13 linear alkylbenzenesulfonate 2, dodecylamine oxide 2, poly(ethylene oxide) lauryl ether 5, poly(ethylene oxide) lauryl ether Na sulfate 3, diethanolamine laurolyamide 5, EtOH 5, Na benzoate 5, Na toluenesulfonate 2, polyethylene glycol 2, and perfumes and water, etc., to 100% showed good detergency and foamability.				
ST	liq detergent skin compatible; linear alkylbenzenesulfonate salt liq detergent; alkali metal alkylbenzenesulfonate salt detergent; alk earth metal alkylbenzenesulfonate salt; ammonium alkylbenzenesulfonate liq detergent; alkylamine oxide liq detergent; nonionic surfactant liq detergent; amphoteric surfactant liq detergent; polyethylene oxide ether sulfate detergent; polyoxyethylene alkenyl sulfate liq detergent				
IT	Glycosides RL: TEM (Technical or engineered material use); USES (Uses) (alkyl, surfactants; skin-compatible liq. detergents contg. linear alkylbenzenesulfonate salts and nonionic surfactants)				
IT	Fatty acids, uses RL: TEM (Technical or engineered material use); USES (Uses) (esters, with Me glucoside, surfactants; skin-compatible liq. detergents contg. linear alkylbenzenesulfonate salts and nonionic surfactants)				
IT	Detergents (liq., skin-compatible liq. detergents contg. linear alkylbenzenesulfonate salts and nonionic surfactants)				
IT	<u>124-22-1D</u> , Dodecylamine, oxide derivs. <u>151-21-3</u> , Sodium lauryl sulfate, uses <u>6994-45-2</u> <u>9004-82-4</u> RL: MOA (Modifier or additive use); USES (Uses) (for skin-compatible liq. detergents contg. linear alkylbenzenesulfonate salts and nonionic surfactants)				
IT	<u>9002-92-0</u> , Poly(ethylene oxide) lauryl ether RL: TEM (Technical or engineered material use); USES (Uses) (surfactants; skin-compatible liq. detergents contg. linear alkylbenzenesulfonate salts and nonionic surfactants)				



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-53694

(43)公開日 平成8年(1996)2月27日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
C 1 1 D	1/12			
C 0 7 C	17/08	9546-4H		
C 1 1 D	1/02			
	1/66			
	3/26			

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 8 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願平6-209164	(71)出願人	000006769 ライオン株式会社 東京都墨田区本所1丁目3番7号
(22)出願日	平成6年(1994)8月10日	(72)発明者	飯原 禎 東京都墨田区本所1丁目3番7号 ライオン株式会社内
		(72)発明者	愛川 直美 東京都墨田区本所1丁目3番7号 ライオン株式会社内
		(72)発明者	西田 誠男 東京都墨田区本所1丁目3番7号 ライオン株式会社内
		(74)代理人	弁理士 小島 隆司

(54)【発明の名称】 液体洗浄剤組成物

(57)【要約】

【目的】 洗浄力に優れ、かつ泡立ち性が良好であり、しかも手肌へのマイルド性に優れた液体洗浄剤組成物を得る。

【構成】 (a) 直鎖アルキル基の平均炭素鎖長が10～16である直鎖アルキルベンゼンスルホン酸のアルカリ金属塩、アルカリ土類金属塩並びに置換及び未置換のアンモニウム塩及びアミン塩の中から選ばれる1種以上の化合物を0.5～5重量%、(b) アルキルアミノオキシドを0.5～10重量%、(c) HLB9～15のノニオン界面活性剤を1～25重量%、(d) 上記(a)で示される化合物以外のアニオン界面活性剤を0～10重量%を含有し、前記(a)、(b)成分の合計量に対して前記(c)、(d)成分の合計量の割合が100重量%とする。また、上記(a)、(c)成分に加え、(b') 両性活性剤を0.5～10重量%、(d') アルキル基又はアルケニル基の炭素数が10～18であり、エチレンオキシドの平均付加モル数が2～7のアルキル又はアルケニルポリエトキシ硫酸塩を0.5～10重量%配合する。

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (a) 直鎖アルキル基の平均炭素鎖長が 10～16 である直鎖アルキルベンゼンスルホン酸のアルカリ金属塩、アルカリ土類金属塩並びに置換及び未置換のアンモニウム塩及びアミン塩の中から選ばれる 1 種以上の化合物を 0.5～5 重量% (b) アルキルアミンオキシドを 0.5～10 重量%、(c) HLB 9～15 のノニオン界面活性剤を 1～25 重量%、(d) 上記 (a) で示される化合物以外のアニオン界面活性剤を 0～10 重量%を含有し、前記 (a)、(b) 成分の合計量に対して前記 (c)、(d) 成分の合計量の割合が 100 重量%以上であることを特徴とする液体洗浄剤組成物。

【請求項 2】 (a) 直鎖アルキル基の平均炭素鎖長が 10～16 である直鎖アルキルベンゼンスルホン酸のアルカリ金属塩、アルカリ土類金属塩並びに置換及び未置換のアンモニウム塩及びアミン塩の中から選ばれる 1 種以上の化合物を 0.5～5 重量% (b') 両性活性剤を 0.5～10 重量%、(c) HLB 9～15 のノニオン界面活性剤を 1～25 重量%、(d') アルキル基又はアルケニル基の炭素数が 10～18 であり、エチレンオキシドの平均付加モル数が 2～7 のアルキル又はアルケニルポリエトキシ硫酸塩を 0.5～10 重量%を含有することを特徴とする液体洗浄剤組成物。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、洗浄力に優れ、泡立ち性も良好であり、しかも手肌へのマイルド性に優れる液体洗浄剤組成物に関する。

## 【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】台所洗剤、住居用洗剤、シャンプー、ボディシャンプー等の液体洗浄剤においては、洗浄時に手などの肌に触れることが避けられないため、従来から洗浄力に優れ、かつ手肌にマイルドで「ぬるつき」感がない洗浄剤組成物の開発が検討されてきた。

【0003】ところで、従来よりアルキルベンゼンスルホン酸塩 (LAS 塩) は安価で非常に洗浄力に優れたアニオン界面活性剤であるが、手肌へのマイルド性が劣ることが知られている。一方、手肌へのマイルド性を向上させる手段として、アニオン界面活性剤にアルキルアミンオキシドを併用したり (特公昭 38-3264 号公報)、両性活性剤を併用する方法が広く採用されている。このため、LAS 塩のマイルド性を向上させるにはアルキルアミンオキシドや両性活性剤を組み合わせることが考えられる。

【0004】しかしながら、本発明者の検討によれば、単に LAS 塩にアルキルアミンオキシドや両性活性剤を併用しただけでは、両成分の相互作用が強いため沈殿が生じ、かえって洗浄力が低下する。

【0005】このため、安価な LAS 塩を用い、その優れた洗浄力をより有効に発揮し、しかも手肌へのマイルド性に優れた液体洗浄剤組成物が望まれていた。

## 【0006】

【課題を解決するための手段及び作用】本発明者は上記要望に応えるため鋭意検討を行った結果、LAS 塩に対しアルキルアミンオキシドを加えた系に、更に HLB が 9～15 のノニオン界面活性剤又は該ノニオン界面活性剤と LAS 塩以外のアニオン界面活性剤を配合すること、この場合、HLB が 9～15 のノニオン界面活性剤と LAS 塩以外のアニオン界面活性剤との合計配合量を LAS 塩とアルキルアミンオキシドとの合計量の 100 重量%以上とすることにより、洗浄力、泡立ち性が優れ、しかも手肌へのマイルド性の良い液体洗浄剤組成物が得られることを見出した。

【0007】また、LAS 塩と両性活性剤とを併用した系に、HLB が 9～15 のノニオン界面活性剤と後述する特定のアルキル又はアルケニルポリエトキシ硫酸塩とを配合することにより、同様に洗浄力、泡立ち性、手肌へのマイルド性に優れた液体洗浄剤組成物が得られることを知見したものである。

【0008】なお、従来よりノニオン活性剤と両性活性剤とを含む液体洗浄剤系については検討されており、例えば特開昭 61-89297 号公報には、ノニオン活性剤と両性活性剤とアルキル硫酸塩等の特定のアニオン活性剤とを含む系が提案され、高泡性で皮膚刺激が少ないことを訴求している。しかしながら、この系はまだ洗浄力が十分なものではないが、本発明においては、上述した特定の組み合わせにより、LAS 塩を用いて高洗浄性、高泡立ち性、マイルド性を同時に達成したものである。

## 【0009】従って、本発明は、

[1] (a) 直鎖アルキル基の平均炭素鎖長が 10～16 である直鎖アルキルベンゼンスルホン酸のアルカリ金属塩、アルカリ土類金属塩並びに置換及び未置換のアンモニウム塩及びアミン塩の中から選ばれる 1 種以上の化合物 (LAS 塩) を 0.5～5 重量% (b) アルキルアミンオキシドを 0.5～10 重量%、(c) HLB 9～15 のノニオン界面活性剤を 1～25 重量%、(d) 上記 (a) で示される化合物以外のアニオン界面活性剤を 0～10 重量%を含有し、前記 (a)、(b) 成分の合計量に対して前記 (c)、(d) 成分の合計量の割合が 100 重量%以上であることを特徴とする液体洗浄剤組成物、及び、

[2] (a) 直鎖アルキル基の平均炭素鎖長が 10～16 である直鎖アルキルベンゼンスルホン酸のアルカリ金属塩、アルカリ土類金属塩並びに置換及び未置換のアンモニウム塩及びアミン塩の中から選ばれる 1 種以上の化合物 (LAS 塩) を 0.5～5 重量% (b') 両性活性剤を 0.5～10 重量%、(c) HLB 9～15 のノニ

オン界面活性剤を1~25重量%、(d')アルキル基又はアルケニル基の炭素数が10~18であり、エチレンオキシドの平均付加モル数が2~7のアルキル又はアルケニルポリエトキシ硫酸塩を0.5~10重量%を含有することを特徴とする液体洗浄剤組成物を提供する。

【0010】以下、本発明につき更に詳述すると、本発明の第1発明に係る液体洗浄剤組成物は、(a)LAS塩、(b)アルキルアミノオキシド、(c)ノニオン界面活性剤、及び、必要により(d)LAS塩以外のアニオン界面活性剤を含有する。

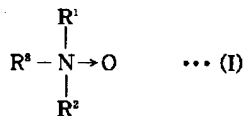
【0011】ここで、(a)成分のLAS塩としては、その直鎖アルキル基の平均炭素鎖長が10~16、好ましくは10~14のものを使用する。また、塩としては、ナトリウム、カリウム等のアルカリ金属、マグネシウム等のアルカリ土類金属、アンモニウム、モノ、ジ、トリエタノールアミン等の置換もしくは未置換のアンモニウム塩やアミン塩が挙げられる。

【0012】LAS塩は、洗浄剤組成物中に0.5~5%配合される。配合量が5%より多いと肌マイルド性が損なわれ、また0.5%より少ないと洗浄性能が発現されない。

【0013】(b)成分のアルキルアミノオキシドとしては、下記一般式(I)で示されるものを用いることができる。

【0014】

【化1】



(但し、式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>はそれぞれ炭素数1~5のアルキル基又はヒドロキシアルキル基、R<sup>3</sup>は炭素数8~20の直鎖又は分岐鎖状のアルキル基又はアルケニル基である。)

【0015】アルキルアミノオキシドは、洗浄剤組成物中に0.5~5%配合される。配合量が5%より多いとぬるつきの発生が起り、一方配合量が0.5%より少ないとアニオン活性剤のぬるつきの発生を十分に防止できず、かつ洗浄性能や泡立ち性が低下する。

【0016】(c)成分であるノニオン界面活性剤としては直鎖率が50%以上であり、C<sub>8</sub>~C<sub>18</sub>の第1級又は第2級の炭素部位を持つ疎水部を有し、かつ、親水部として下記のように分類されるものが好適に使用される。

【0017】1) エーテル型

エチレンオキシドを5~18モル付加したポリオキシエチレンアルキルエーテルアルキルポリグリコシド

【0018】2) エーテルエステル型

グリセリンエステルのポリオキシエチレンエーテル  
ソルビタンエステルのポリオキシエチレンエーテル

ソルビトールエステルのポリオキシエチレンエーテル  
脂肪酸アルキルエトキシレート

【0019】3) エステル型

ポリエチレングリコールエステル

モノグリセライド

ソルビタンエステル

ポリグリセリンエステル

プロピレングリコールエステル

アルキルグルコースエステル

10 蔗糖エステル

【0020】本発明では、これらのノニオン界面活性剤のうちHLB値が9~15、好ましくは9~14の活性剤が使用される。具体例としては、C<sub>12</sub>ポリオキシエチレンエーテル(p=7)(HLB:10.9)、C<sub>12</sub>ヘキサグリセリンエステル(HLB:12.0)、C<sub>10</sub>メチルグルコースエステル(HLB:10.3)等が挙げられる。

【0021】上記ノニオン界面活性剤は、洗浄剤組成物中に1~25%、好ましくは3~15%配合される。この配合量が25%より多いと製品粘度が上昇しゲル化が起きる。また配合量が1%より少ないと肌マイルド性及び仕上がり性の効果が充分でない。

【0022】次に、(d)成分のLAS塩以外のアニオン界面活性剤としては、アルキル基又はアルケニル基の炭素数が10~18、特に12~14のアルキル又はアルケニルポリエトキシ硫酸塩(エチレンオキシドの平均付加モル数p=2~7、特に3~5)、C<sub>10</sub>~C<sub>14</sub>アルキル硫酸エステル塩、C<sub>10</sub>~C<sub>18</sub>α-オレフィンスルホン酸塩、C<sub>10</sub>~C<sub>14</sub>アルキルエーテルカルボン酸塩、C<sub>10</sub>~C<sub>18</sub>のアルカンスルホン酸塩等であって、塩がアルカリ金属塩、マグネシウム或いはモノ、ジまたはトリエタノールアミン塩である界面活性剤から選ばれる少なくとも1種の界面活性剤が好適である。

【0023】(d)成分の含有量は、洗浄剤組成物中0~10%であり、好ましくは0.5~5%である。10%より多いとぬるつきが発生する。

【0024】本発明の第1発明にあっては、前記(a)、(b)成分の合計量に対する前記(c)、(d)成分の合計量の割合[(c)+(d)/(a)+(b)]を100%以上、望ましくは150%以上とする。この割合が100%に満たない場合はLAS塩とアミノオキシドの沈殿が生じ易く、また洗浄性能も発現しない。

【0025】次に、本発明の第2発明に係る液体洗浄剤組成物は、(a)LAS塩、(b')両性活性剤、(c)ノニオン界面活性剤、及び、(d')アルキル又はアルケニルポリエトキシ硫酸塩を含有する。

【0026】ここで、(a)、(c)成分の種類及び配合量等は第1発明の場合と同様である。

50 【0027】(b')成分の両性活性剤としては、アル

5

キルペタイン型両性活性剤、スルホペタイン型両性活性剤、アミドペタイン型両性活性剤、イミダゾリン型両性活性剤等を用いることができ、これらの両性活性剤の1種を単独で使用してもよく、2種以上を組み合わせてもよい。なお、(b')成分の配合量は、上記(b)成分と同様である。

【0028】(d')成分のアルキル又はアルケニルポリエトキシ硫酸塩としては、そのアルキル基又はアルケニル基の炭素数が10~18、特に12~14であり、エチレンオキシドの付加モル数が2~7、特に3~5のものを使用する。その配合量は、洗浄剤組成物中に1種又は2種以上の組み合わせで0.5~10%、より好ましくは1~5%である。配合量が10%より多いとぬるつきが発生し、配合量が0.5%より少ないと泡立ち性や洗浄能力が低下する。

【0029】本発明の液体洗浄剤組成物には、上記した必須成分以外に任意成分として、アルカノールアミン、脂肪酸アルカノールアミド、低級アルコール、多価アルコール、ハイドロブ剤、クエン酸等のイオン封鎖剤、抗菌剤、色素、香料、紫外線吸収剤、植物抽出液・ピロリドンカルボン酸等の保湿成分、塩化ナトリウム・硫酸マグネシウム等の無機塩類、酸化防止剤、粘度調整剤、精製水等を必要に応じて添加することができる。なお、これら任意成分の添加量は、本発明の効果を妨げない範囲で通常量とすることができる。

【0030】

【発明の効果】本発明の液体洗浄剤組成物は、洗浄力に優れ、泡立ち性も良好であり、しかも手肌へのマイルド性に優れているもので、台所洗剤等として使用することができる。

【0031】

【実施例】以下、実施例と比較例を示し、本発明を具体的に説明するが、本発明は下記実施例に制限されるものではない。

【0032】表1、2に示す組成の液体洗浄剤組成物を調製し、リーナッツ洗浄力、起泡力及びマイルド性を下記方法で評価した。結果を表1、2に併記する。

6

【0033】リーナッツ洗浄力：日本薬局方に規定された大豆油と牛脂各10gを60mlのクロロホルムに溶解した後、オイルレッド0.1gを加えてよく混合し、汚垢溶液を調製する。この溶液にガラスプレートをして汚染し、25℃の温度で30分以上風乾してクロロホルムを除去し、汚垢片を作成する(汚垢量20~23mg/枚)。この汚垢片6枚を25℃、700mlの0.15%の洗浄剤液中で250rpmの回転速度で3分間かき混ぜて洗浄した後、風乾して重量を測定し、洗浄後の油除去率を下記の式により算出して洗浄力とした。

【0034】

【数1】

$$\text{洗浄力 (\%)} = \left(1 - \frac{W2 - W0}{W1 - W0}\right) \times 100$$

【0035】W0：ガラスプレートの重量

W1：汚染後のガラスプレートの重量

W2：洗浄風乾後のガラスプレートの重量

【0036】起泡力：洗浄剤組成物0.15%を含む水溶液を調製し、その3リットルを直径30cm、深さ12cmのバットに入れ、液温25℃において、空気を含んだスポンジを液中で圧縮する操作を10回繰り返して泡立てた後、1枚当たり0.5gのバターを塗布した皿の表面を10回、裏面を5回ずつスポンジで擦り洗いし、泡高が3mmになるまでに洗える皿の枚数を泡立ち性とした。

【0037】マイルド性の評価：洗浄剤組成物の5%水溶液に手を浸し、マイルド感(手肌に対するさらさら感)を下記基準により官能評価した。

【0038】(評点)

1：著しくぬるつく

3：ぬるつく

5：ぬるつきがない(さらさらする)

【0039】表1、2の結果より、本発明の液体洗浄剤組成物は、洗浄力に優れ、泡立ちも良好であり、手肌へのマイルド性に優れていることが確認された。

【0040】

【表1】

		実 施 例						比較例	
		1	2	3	4	5	6	1	2
組 成 (%)	a 成分								
	C <sub>10-13</sub> LAS - Na	2	1			2	2	6	8
	C <sub>10-13</sub> LAS - TEA		1	2	2				
	b C <sub>12</sub> アミノオキシド	2	2	2	2	2	2	2	2
	c 成分								
	C <sub>12</sub> 1 級 AE p = 12 * 1	5	8			8	10	2	
	C <sub>12</sub> APG * 2			6					
	C <sub>10</sub> MGE * 3				6				
	d 成分								
	C <sub>12</sub> AES - Na * 4	3	2	2	2			2	
	C <sub>14</sub> AOS - Na * 5					2			
	(c + d) / (a + b) × 100	200	250	200	200	250	250	50	0
	ラウリン酸ジエタノール アミド	5							
	エタノール	5							
	安息香酸 Na	5							
評 価	トルエンスルホン酸 Na	2							
	ポリエチレングリコール (M = 1000)	2							
	香料 * 6	0.2							
色素		0.01							
水		バランス							
計		100							
原 液 pH		6.8							
評 価	リーナッツ洗浄力 (%)	70	70	70	70	70	70	60	60
	起泡力 (枚)	12	12	12	12	12	12	10	10
	マイルド性	5	5	5	5	5	5	4	4

【0041】 \* 1 : ラウリルアルコールエチレンオキシド 12 付加物 (HLB 12. 5)

\* 2 : アルキルポリグルコシド (C<sub>12</sub>) (HLB 9. 03)

\* 3 : メチルグルコシド脂肪酸 (C<sub>10</sub>) エステル (HLB 10. 3)

\* 4 : POE (n = 3) ラウリル硫酸ナトリウム

\* 5 : C<sub>14</sub> アルファオレフィンスルホン酸ナトリウム

\* 6 : 香料の組成は下記に記載

【0042】

【表2】



			実 施 例						比較例	
			7	8	9	10	11	12	3	4
組 成  (%)	a 成分	C <sub>10-13</sub> LAS - Na	2	1			2	2	2	
		C <sub>10-13</sub> LAS - TEA		1	2	2				
	b 成分	C <sub>12</sub> アルキルベタイン	3		3	3	3		2	2
		C <sub>12</sub> アミドプロピル ベタイン		3				3		
	c 成分	C <sub>12</sub> 1級AE p = 12 * 1	5	8			8	10		5
		C <sub>12</sub> APG * 2			6					
		C <sub>10</sub> MGE * 3				6				
	d 成分	C <sub>12</sub> AES - Na * 4	3	2	2	2	2			
		C <sub>12</sub> AS - Na * 7				6			5	4
	ラウリン酸ジエタノール アミド		5							
	エタノール		5							
	安息香酸Na		5							
	トルエンスルホン酸Na		2							
	ポリエチレングリコール (M = 1000)		2							
	香料* 6		0.2							
	色素		0.01							
	水		バランス							
	計		100							
原 液 pH			6.8							
評 価	リーナッツ洗浄力 (%)		70	70	70	70	70	70	60	60
	超泡力 (枚)		12	12	12	12	12	12	10	10
	マイルド性		5	5	5	5	5	5	4	5

【0043】 \* 1~4, 6 : 表1と同様

【0044】

\* 7 : ラウリル硫酸エステルナトリウム

香料組成 :

アルデヒドC-7	0.5 %
アルデヒドC-8	0.5
アルデヒドC-9	0.5
アルデヒドC-10	0.5
アルデヒドC-11	0.5
アルデヒドC-12MNA	0.5
γ-ウンデカンラク톤	1.0
エチルメチルフェニルグリシデート	1.0
pメチルβエチルニルグリシデート	1.0
αnアミルシンナミックアルデヒド	2.5
アネトール	1.0
アニスアルデヒド	1.0
アニスアルコール	1.0
p-tert-ブチルシクロヘキシルアセテート	2.5

11	12
1-ボルニルアセテート	1. 0
セドリルアセテート	1. 0
1, 8シネオール	1. 0
シトラール	2. 5
シトロネラール	0. 5
シトロネロール	2. 5
シトロネリルアセテート	2. 5
シンナミックアルデヒド	1. 0
クマリン	1. 0
シクラメンアルデヒド	2. 5
ダマスコン	0. 5
ジメチルアンスラニレイト	0. 5
ジベンテン	0. 5
ジフェニルオキサイド	0. 5
エチルアセテート	0. 5
エチルアンスラニレイト	0. 5
エチルバニリン	0. 5
エチレンブラシレイト	2. 5
オイゲノール	1. 0
ビスクロジヒドロホモファルネシルオキサイド	2. 5
ガラクソライド	2. 5
ガラニオール	2. 5
ガラニルアセテート	2. 5
ヘディオン	2. 5
ヘリオナール	1. 0
ヘリオトロピン	1. 0
イオノン	2. 5
$\alpha$ nヘキシルシンナミックアルデヒド	2. 5
c i s-3-ヘキサノール	0. 5
ヒアシンスアルデヒド	0. 5
ヒドロトロパアルデヒド	0. 5
イソ・イー・スーパー	1. 0
イソオイゲノール	1. 0
リリアール	2. 5
リモネン	2. 5
リナロール	2. 5
リナロールオキサイド	0. 5
リナリルアセテート	2. 5
リラール	2. 5
1-メントール	0. 5
メチルアンスラニレイト	1. 0
メチルイオノン	2. 5
メチルメチルアンスラニレイト	0. 5
ムスクT	2. 5
ミラックアルデヒド	0. 5
ネロール	0. 5
フェニルエチルアセテート	2. 5
$\beta$ -フェニルエチルアルコール	2. 5
ボルニルメトキシシクロヘキサノール	2. 5
ローズフェノン	0. 5

(8)

特開平8-53694

13	14
スチラリルアセタート	0.5
$\alpha$ -ターピネオール	2.5
ターピネオールアセテート	2.5
テトラハイドロリナロール	1.0
テトラハイドロムゴール	1.0
トナリド	1.0
パニリン	0.5
ベルトフィックス	2.5
計	100.0%

---

 フロントページの続き
(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

C 1 1 D 17/08